

事業番号	事務事業名	町有林整備事業費	所管課名	産業観光課	令和 2 年度課長名	小椋 正己
04155	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	林務係	担当者・シート作成者	柴田 和紀
	施策名	22 林業の振興	根拠法令等	森林法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	町有林の保育事業の実施。 ①町有林台帳 ②現地確認 ③設計書作成 ④見積もり提出依頼 ⑤見積受領 ⑥契約締結 ⑦事業実施 ⑧完了届受領 ⑨現地確認検査 ⑩請求書受領 ⑪代金の支払 ⑫台帳整備	町政施行以来、町有林として取得し造林開始(町行造林を含む)

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 町有林	ア 施業面積	ha	見込 実績	50 11	50 6	50 20	50	50
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 財産価値を上げる	ア 町有林材積(直営)	m ³	目標 実績 達成率	392,000 388,138 99.0%	392,000 391,855 100.0%	392,000 392,314 100.1%	393,000	394,000 99.6%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 適正な管理	ア 町全体間伐面積	ha	目標 実績 達成率	650 457 70.3%	650 370 56.9%	700 274 39.1%	400	425 64.5%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 06		項 02		目 04		大事業 中事業					事業番号			
	一般会計		農林水産業費		林業費		町有林管理費		02 01 町有林整備事業費								
予算(千円)	30 年度実績	1 年度実績	2 年度実績	3 年度見込	4 年度見込	前年比	決算(千円)	30 年度実績	1 年度実績	2 年度実績	3 年度見込	4 年度見込	前年比				
国庫支出金							国庫支出金										
県支出金	8,879	15,908	12,179	10,060	9,000	-3,729	県支出金	6,991	9,842	1,401	10,060	9,000	-8,441				
町債							町債										
その他特財	1,810	2,851	1,810	2,010	2,000	-1,041	その他特財	2,565	6,689	6,932	2,010	2,000	243				
一般財源	11,511	11,065	20,875	7,183	13,000	9,810	一般財源	0	12,274	20,080	7,183	13,000	7,806				
合計	22,200	29,824	34,864	19,253	24,000	5,040	合計(A)	9,556	28,805	28,413	19,253	24,000	-392				
財源名称	林業費県補助金 造林事業補助金						従事正職員人数	1	1	1	1	1					
	立木売却収入						延べ業務事務時間	60	60	60	60	60					
							人件費計(千円)(B)	203	210	201	201	201	-9				
	最終予算額		34,864 千円		予算執行率		81.4%		トータルコスト(A+B)		9,759	29,015	28,614	19,454	24,201	-401	
主な支出事業内容(予算)	保険料						300 千円		主な支出事業内容(決算)	保険料						61 千円	
	委託料						34,564 千円			委託料						28,352 千円	

事業番号	04155	事務事業名	町有林整備事業費	所管課名	産業観光課
------	-------	-------	----------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 材価の低迷による、林業従事者の減少が進み、森林の荒廃等が懸念されている。住民の林業に対する関心が薄れており、町有林を模範林として整備することによる効果も期待したい。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯 現地踏査による鏡野地域の台帳整備(平成22年度から23年度)。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか? 平成23年度、森林の水源涵養機能についての重要性について提言があり(奥津地区部落長)積極的な間伐等施業を実施してほしい旨要望があった。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	保育事業を行うこと、すなわち財産価値をあげることである。また間伐の推進による林業の活性化。ひいては、地球規模での環境対策に繋がっている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	材価の低迷に加えて林業従事者の高齢化、従事者の減少による山林の荒廃を防ぐべく森林の所在市町村である鏡野町が実施している。町の財産である町有林に町費を投入することは自然なことである。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	妥当である。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	現状で適切であるが、放置されている町有林も存在していると思われる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	財産価値の向上を放棄することにつながるばかりでなく、環境問題への対策等も放棄することとなる。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	現状では地域の林業事業者への委託しか方法はない。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	単価を下げることは可能であるが、保育事業にかかる人件費、燃料費等は増えており、森林作業を率先して行う公共団体としては削減はできない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	最低限の業務時間で実施しており、削減余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	財産価値をあげることは町全体の利益につながり公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	計画的に保育間伐を実施しているものの、町有林面積は広大であり、今後も計画的な施業が必要である。また、公共施設で使用する町産材の搬出も行っているが、建築に必要な材積の確定が、施業後になるため、必要な数量の搬出が難しい。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		<p style="text-align: center;">今後の改革改善案</p> <p>町全体の町有林に熟知している森林組合との連携を密にとり計画的・効率的な作業実施を行いたい。</p>																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">削減</td> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">成果</td> <td style="text-align: center;">向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">維持</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)</p>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
町有林の面積は広大であり、長期的な視点を持った施業を行うためには、林務に精通した職員の育成が必要である。																									